

もくじ

第1章 ちょっとだけ遊び心を

第2章 論文審査はボランティア

- 2.1 編集委員長から見た著者 7
- 2.2 査読者から見た論文 14

第3章 どうせ書くなら楽しく

- 3.1 査読者を味方に引き込もう 21
- 3.2 ベストセラー小説の書き方にならおう 23
 - 3.2.1 タイトルは論文の顔である 24
 - 3.2.2 冒頭で読者をつかめ 33
 - 3.2.3 主人公を窮地に追い込め 40
 - 3.2.4 結末はハッピーエンドで 42
 - 3.2.5 困難は主人公の愚かさに帰因するものであってはならない 45
 - 3.2.6 話の展開はテンポよく 46
 - 3.2.7 図を効果的に使おう 52

第4章 言いたいことは何なのか

4.1 重症患者の諸症状	57
4.1.1 ボロノイ図と席取り	57
4.1.2 ナイキスト周波数	62
4.1.3 固定された指標と動く指標	65
4.2 楽しい二重人格をめざそう	66

第5章 思考の通路を歩きやすくする技術

5.1 標識による道案内	70
5.2 文の型による道案内	81
5.2.1 名詞の結合	82
5.2.2 ことばの列挙	84
5.2.3 仮定・約束の及ぶ範囲	89
5.2.4 意味と型の不一致のいろいろ	92
5.2.5 文章は一方通行道路	94
5.2.6 テンと構造——本多の基本原則	97
5.3 古い情報の引き継ぎによる道案内	104

第6章 これだけは知っておきたい執筆ルール

6.1 ルールの必要性	109
6.2 基本ルール	110
6.2.1 投稿規定	110
6.2.2 論文の構成	112
6.2.3 ローマン体とイタリック体	114
6.2.4 数式も含めて文法に合った文を	116
6.2.5 コロンとセミコロン	118
6.2.6 物理量の単位	122
6.2.7 図と表	127

6.2.8 参考文献について	128
----------------------	-----

第7章 日本語文書のためのチェックリスト

7.1 漢字の使い方は統一されているか	134
7.2 パラグラフ構造が適切に作られているか	135
7.3 区切り記号の改行原則は守られているか	136
7.4 左引用符号は正しいか	138
7.5 全角と半角の切り換えは正しいか	138
7.6 似て非なる記号の混同はないか	139
7.7 言葉の呼応は適切か	140
7.8 文末の調子は統一されているか	140
7.9 列挙のふぞろいはないか	141
7.10 否定の範囲は明確か	142

参考図書・参考文献	145
-----------------	-----

索引	147
----------	-----